

## 2020 年度実施概要

学校名

石巻市立荻浜中学校

採択活動名

「私たちと海」～豊かな海との共生を目指して～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 「私たちと海」	全学年	総合学習
2.		
3.		

取り組みの概要

生徒たちを2つのグループに分け（3人と2人）①海洋ごみと②地球温暖化に伴う海水温の上昇の2つのテーマについて「身近な体験活動」を基に考察を加え、中学生なりの提言を発信させた。

海洋ごみについては、2か所の浜で実際にごみ拾いを行い、2つの浜においてプラスチックごみが占める個数と質量の割合を求め特徴を考察した。牡鹿半島中央部の狐崎浜においては、人の出入りがなくごみは漂着したものであることが明らかになった。この結果に基づき、渡波海水浴場で行ったごみ拾いでは、人の出入りがあり主に捨てられたごみが多くあり、これらのごみが波によって沖へ流出していることが明らかになった。提言としては「ごみを捨てないように呼び掛ける。大人の人にも守ってほしい。」という内容のものになった。

海水温の上昇については、保護者の協力を得て船で狐崎浜の沖合へ出て「磯焼けの現場」を見る予定だったが、あいにく海が濁っていて直接観察することはできなかった。ただ漁師へのインタビューにおいて「磯焼けが実の入らないウニの増加」によって起こっていることを聞くことができ、捕れる魚種にも変化があることが明らかになった。石巻魚市場の見学では、市場の方から近年コウナゴが全く捕れず、以前は捕れなかったメヒカリなどが捕れることをうかがうことができ、捕れる魚種に変化があることを市場の方によって裏付けられる形となった。その後、海水温の上昇が地球温暖化の一部であり、化石燃料の消費による大気中の二酸化炭素の増加が原因になっていることを学んだ。これらのことから提言としては「火力発電の稼働を抑制する意味で、節電に取り組みたい。」という内容のものになった。

これらの内容を、文化祭、宮城県水産技術総合センターそして第8回海洋教育サミットにおいて発表し、生徒たちの表現する力が大きく向上した。

&lt;活動中の様子&gt;

